

資料 2

藤原町雨水貯留施設築造事業について

下水道課

事業概要

寺尾地域の浸水被害軽減のため、その上流域の藤原町にある藤原町第一公園、藤原町第二公園内に雨水貯留施設の設置を行っております。

令和2年度に藤原町第二公園内に雨水貯留量約386m³の貯留施設の整備を終え、令和3年度からは藤原町第一公園内に雨水貯留量約1,810m³の貯留施設の整備に着手し、令和6年度の完成を目指し、事業を進めております。

藤原町雨水貯留施設築造事業 概要図



江戸川第1排水区雨水貯留施設（藤原町第一公園内）概要

公園面積：約2,380m²

施設面積：約540m²

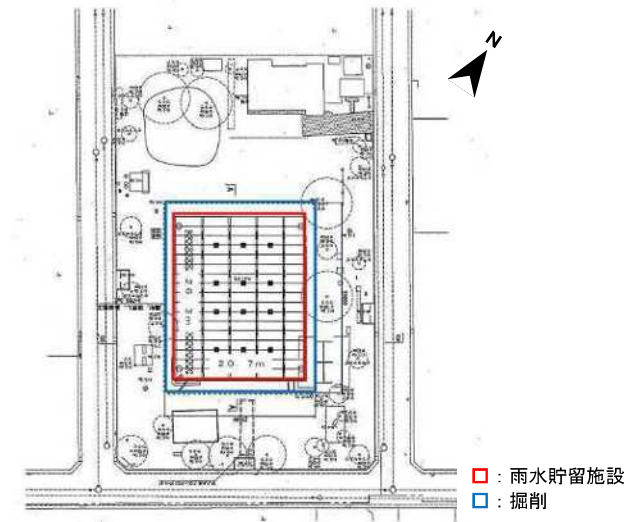
集水面積：約1.0ha

貯留容量：約1,810m³

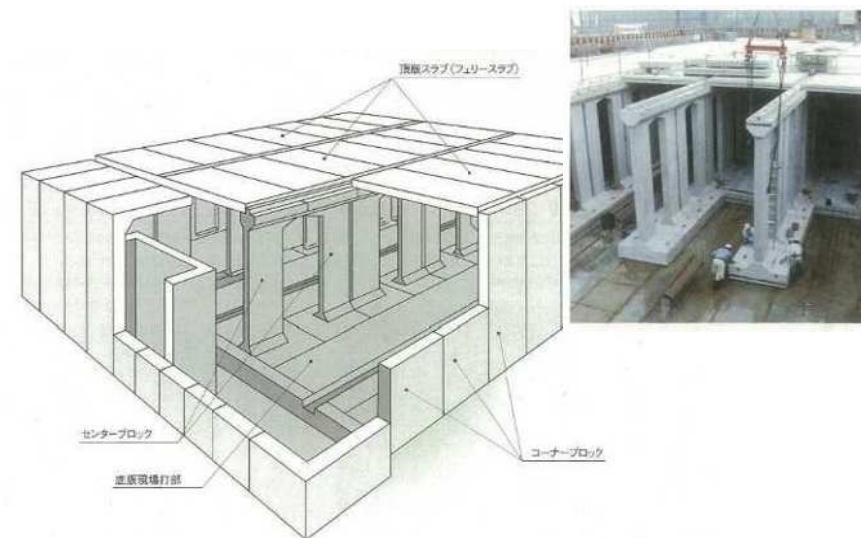
土被り：公園の地表面から約3.7m

工期：令和4年12月23日～令和6年1月16日（継続費事業）

藤原町第一公園内 施設配置状況図



施設整備イメージ図



※出典：日本ヒューム株式会社「雨水地下貯留施設プレキャスト遊水池」

工事の手順と進捗状況

| ①着工前 | ②土留仮締切工 | ③1次掘削 | ④支保工（1段目） |
|--|---|--|--|
|  |  |  |  |
| <p>藤原町第一公園 滑り台やブランコなどが設置されている市民に身近な公園として活用されています。</p> | <p>公園の地下に雨水貯留施設を設置するためには、深く掘削することになります。公園周辺の道路や建物が崩れないようにするため鋼矢板を打ち込みます。</p> | <p>鋼矢板の打ち込みが完了し、掘削を始めます。</p> | <p>ある程度の深さまで掘削したら、鋼矢板が倒れ、公園周辺の道路や建物が崩れないように支保工（梁の据付）を行います。</p> |
| ⑤2次掘削 | ⑥基礎工 | ⑦貯留施設設置工 | ⑧完了 |
|  |  |  |  |
| <p>さらに、掘削を進めながら、2段目の支保工を行い、貯留施設を設置する深さまで掘削を進めます。</p> | <p>貯留施設の設置位置まで掘削が完了したら、貯留施設が傾いたり、沈んだりしないように基礎の施工を行います。</p> | <p>2段目の支保工を外し、貯留施設の製品をクレーンで下ろし、据え付けていきます。</p> | <p>貯留施設の設置が完了したら、公園の地面の高さまで土で埋戻します。公園周辺が崩れないように設置した鋼矢板を抜いた後、公園の表面を均して、今回の工事は完了となります。</p> |

※令和6年度に既設雨水管との接続やポンプの設置、公園の復旧などを実施する予定です。